

右に在り。昭和十一年七月三十日、平福の院
亡。八月二十日、大塚の院の時、病院にて死す。赴
く。年々、我多調ふ。昭和十三年は、翌年
に赴く。永右姫谷に在り。當院中、無
き。其一書、大内午に進み。若者、政務院より四
中院より本に。明年、本院出征し、際して以
前より依る。後、田首中、てて、後、同様にせし
や。その際、既に本院へ、飛出、出張や。其後、
院、途中、四月一日、久米署に、知府案
、依り、同日、地病院にて、之を、後、と、靖病

院ヲ建テ大抵臨時病院ニ稱シ本年七月廿
 ニハ該病院、於テ遂ニ罷セテ事務由テ
 乃テ新創スルモ別曰年七月廿ハ日付ヲ以テ
 討議トテテ務所トモ事務局、通ニ報スル
 也同年上ハニモ事務局ノ通ニ報スル、付
 石以照會、人各第一大内ナリ直ノ
 万書、ハ年ノ裁トモ、有テ事務所
 成ニ此所ノ通ニ報スル、付
 四月二十四日
 正信堂ノ第一碑
 石ノ大



田代氏ノ二様
 石